

東日本大震災で被災した地域へ民医連歯科から支援第一弾として北海道勤労者歯科医療協会から法人専務桜井好明、勤医協にしく歯科所長、西田徹歯科医師、勤医協もみじ台歯科、歯科衛生士主任市村寛美の3名が宮城県へと3月20日午後17時勤医協にしく歯科から出発した。



できるだけ多くの物資を供給したい。松島歯科はユニットが津波で動かなくなり往診用ポータブルタービンなどで対応しているが往診器材が不足している、ガソリンや水などの生活物資の他にも現地ではマスク、グローブ、歯ブラシが不足しているとの報告を受けていた。

(右端からにしく歯科所長西田徹歯科医師、ふしこ歯科所長今上岳彦歯科医師、法人専務桜井好明)

松島は電気が通っているが水道はまだ出ない。往診器材、歯刷子約1000本、マスク、グローブの他ガソリン携行缶などなどなんとか何とか詰め込む。



衛生士主任の座るところ、足も延ばせない狭さ。

午後19時30分の小樽発フェリーに乗り込むため、午後17時にしく歯科出発



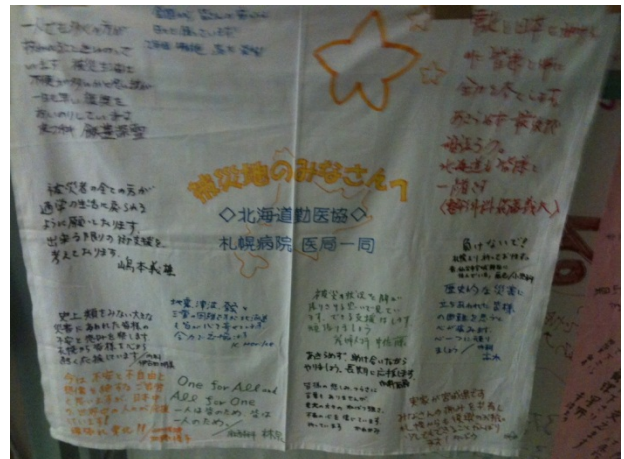
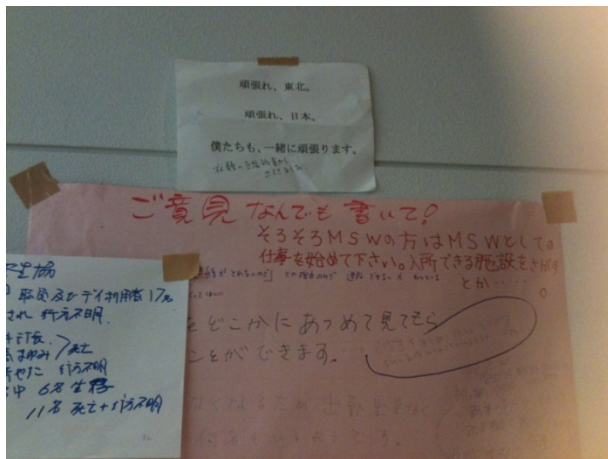
翌日 21日 14時ころ新潟到着、宮城への高速は許可を得た緊急車両しか通れない。港から近いガソリンスタンドで交渉して燃料を補給



途中ではガイガーカウンターで放射線測定。
新潟 $1 \mu\text{Sv}$ 毎時、福島県耶麻郡磐梯山では $4 \mu\text{Sv}$ 毎時だった。
ちなみにほぼ同時刻の東京は風の影響で $1.24 \mu\text{Sv}$ でいずれも人体に影響はないレベルとされている量だがやはり高くなっていると報じられている。



午後 8 時宮城県坂総合病院到着。廊下には物資が並べられている場所がある。壁にはミーティング予定や意見を書く場所、勤医協札幌病院医局からの応援寄せ書きもあった。



視察を終えてすぐ松島へ。国道は瓦礫廃墟が続き、一部冠水していた。宿は幸いにもとれた。電気は復旧しているが水道はしていない。宮城県は21日午前0時時点で46万世帯が断水している。先に到着していた全日本民医連歯科部で東京立川相互歯科所長、松澤広高歯科医師（写真真ん中）と徳島県民連会長児嶋誠一歯科医師（写真真ん中左側）と現地スタッフと打ち合わせを行った。松澤歯科医師からは野蒜地区の広い範囲にわたる被害とこれからの取り組みについて説明があり古川歯科駒形所長は昨日より身元確認作業に出かけているとの報告があった。



明日から支援スタート。現状の把握と支援活動、後に続く支援者へのための情報収集と気の抜けない時間が続く。

※twitter では ittyan228、kinikyoshika、kitakushika のアカウントでたまに入りの情報をつぶやきます。

（市村歯科衛生士とのやり取りをもとに作成、文責 荻原宏志）